

表紙(P1)―別掲

NPO 法人いわて未来政策・政経研究会会報 第 41 号(R2.7.31)

平成 31 年度・令和元年度いわて未来政策・政経研究会活動決算 単位:円

収 入	本年度予算(A)	本年度決算(B)	差異(B-A)	備 考
1 会 費	725,000	771,000	46,000	
(1) 正会員(個人)	254,000	240,000	△14,000	2,000 円×120 人
(2) 正会員(団体)	400,000	460,000	60,000	20,000 円×23 団体
(3)賛助会員(個人)	51,000	51,000	0	1,000 円×51 人
(4)賛助会員(団体)	20,000	20,000	0	10,000 円×2 団体
2 広告料収入	24,000	24,000	0	会報への掲載。3 社(人) ×2,000 円×4 回
3 寄付金	25,000	39,000	14,000	延べ 13 人
4 いわて平成松下 村塾受講料	20,000	0	△20,000	
5 繰越金	2,116,450	2,116,450	0	
6 雑収入	100	1,023	923	利息、交流会残金
計	2,910,550	2,951,473	40,923	
支 出	本年度予算(A)	本年度決算(B)	差異(A-B)	備 考
1 会議費	97,000	87,834	9,166	総会、理事会。旅費・交 通費、印刷費、通信費、 消耗品費等
2 総務費	2,262,000	243,261	2,018,739	
(1) 報酬	120,000	120,000	0	常 勤 役 員 ( 会 長 ) 報 酬 10,000 円×12 月
(2) 臨時雇用費	64,000	57,600	6,400	集中的作業要員賃金
(3) 旅費・交通費	18,000	18,000	0	出張経費
(4) 交際費	5,000	1,184	3,816	会員逝去に伴う弔電
(5) 備品・消耗品費	15,000	14,592	408	消耗品経費
(6) 通信・運搬費	10,000	9,095	905	郵送料、切手代
(7) 印刷費	5,000	2,280	2,720	コピー代
(8) 雑費	25,000	20,510	4,490	会費払込手数料
(9) 積立金	2,000,000	0	2,000,000	次年度以降事業円滑化積 立金。次年度に繰越し

NPO 法人いわて未来政策・政経研究会会報 第 41 号(R2.7.31)

支 出	本年度予算(A)	本年度決算(B)	差異(A-B)	備 考
3 事業費	482,000	411,985	70,015	
(1) 普及促進事業	120,000	105,587	14,413	会の目的達成のための普及促進。印刷費、通信費、旅費・交通費、ホームページ料等
(2) 会報発行	220,000	218,713	1,287	4 回発行。印刷費、通信費、消耗品費、執筆謝礼等
(3) 講演会	60,000	50,045	9,955	2 回開催。うち 1 回は総会開催時。講師謝礼、旅費交通費、印刷費等
(4) 政治家等との意見交換会	22,000	21,946	54	会場使用料、講師謝礼(菓子)、消耗品費、印刷費等
(5) いわて平成松下村塾運営事業	30,000	0	30,000	講師謝礼、旅費・交通費等
(6) 会員等親睦交流事業	30,000	15,694	14,306	実行委員会への補助金、通信費、消耗品費等
4 予備費	69,550	0	69,550	
計	2,910,550	743,080	2,167,470	
収入－ 支出	0	2,208,393		次年度に繰越し

## 会 計 監 査 報 告 書

令和 2 年 4 月 22 日、特定非営利活動法人いわて未来政策・政経研究会事務所(奥州市江刺愛宕字橋本 119 番地)において、事業報告書、活動決算書等決算に関する書類を監査した結果、諸帳簿・通帳・証拠書類が、正確かつ適正に処理されていたことをここに報告いたします。

令和 2 年 6 月 20 日

特定非営利活動法人  
いわて未来政策・政経研究会

監 事 千 田 幸 雄



監 事 葛 西 久 雄



# いわて未来研インタビュー

☆ 中心課題は、「環境と防災プラス新型コロナウイルス対策」です。 ☆

## ❁ 巨大地震の防災を考える ❁



堀内 茂木(しげき) さん

(元国立研究開発法人防災科学技術研究所研究部長、(株) ホームサイスマメータ代表取締役、福島県白河市)

相原: 私が大学1年時の下宿で初めてお目にかかって以来、1年先輩として囲碁を含めてご指導を頂いてまいりました。この度もご協力ありがとうございます。

質問の前に、上述以外のご経歴等を紹介させていただきますと、東北大学理学部、同大学院をご卒業後、同大学助教授となられ、その後防災科学技術研究所に転任されました。2006年に気象庁長官賞、つくば奨励賞、2007年日経BP技術賞、科学技術政策研究所より「ナイスステップな研究者」として選出など多くの賞を受けておられます。

質問ですが、地震研究の専門家とされたきっかけや動機を伺います。

堀内: 久しぶりにお会いできて嬉しいです。動機は、中学校の理科の授業で、地球物理に興味をもったからといったと



1950年以降に発生した世界の巨大地震の分布(東京大学地震研究所による)

ころでしょうか。

相原: 私のような初心者向けに、地震とは何か、なぜ起こるのかについて分かり易くご説明頂ければと思います。

堀内: 地球内部には、極微量ではあるが放射性元素が含まれており、この自然崩壊により熱が発生しています。この熱により温められた地球深部の岩石は膨張し、軽くなるため浮力が働き、対流が発生します。

地球深部の岩石が対流で地表付近まで上昇すると、冷やされ、重くなり、沈み込みます。地球深部は、高温、高压であるため、対流による歪エネルギーは、連続的に開放されますが、地球浅部では、時々岩石が滑る、即ち、地震が発生し、エネルギーが解放されます。

海域では、標高が低く、陸域では高くなっています。陸域で、標高が高いのは、陸の下に軽い物質が大量にあるからです。地震を発生させる対流は、陸域の下にある軽い物質を地球深部に引きずり

込むことはできません。このため、対流の沈み込みの境界は、海域と陸域の境界付近に分布しております。環太平洋の地震帯は、この原因で形成されたものであり、地震は、沿岸域で多く発生するという性質があります。

対流の沈み込み速度は、東北沖では、年間 10cm 程度ですので、100 年間では、10m になり、これは、マグニチュード 8 程度の地震の一回分の滑りに相当しています。

相原：東日本大震災での教訓を生かし、巨大地震の防災の観点から、お話ししたいと思います。なお、恐れ入りますが、専門用語を抑えて一般人向けの語り口でお願いできればと思います。

— 以下、質問部分を省略 —



● 巨大地震の発生

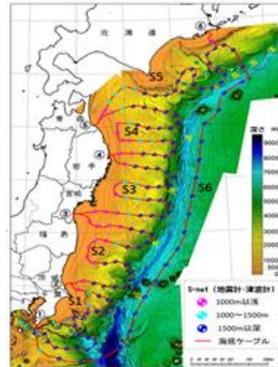
巨大地震が発生すると、甚大な被害を及ぼします。東日本大震災での犠牲者は、18,000 人で、原発事故を引き起こしました。2004 年に発生した、マグニチュード 9.1 (M9.1) のスマトラ沖地震では、22 万人もの人々が津波の犠牲になりました。

1950 年以降 M8.5 以上の巨大地震の分布ですが、65 年間で 7 回発生していますので、世界的にみると、巨大地震は約 10 年に 1 回発生していることとなります。

● 巨大地震の発生の検知

過去の巨大地震の発生を調べますと、巨大地震発生を検知できず、これが、被害を拡大させた事実を知ることができます。

マグニチュードには、M8 を超える大きい地震の場合、飽和してしまい、8 前後より大きくなれないという性質があります。



防災科学技術  
研究所—海洋  
研究開発機構  
—海底地震計  
の整備計画

東日本大震災でも、M9 の地震発生を最初から検知できていれば、気象庁による津波警報は 20-50m 位になっていたはずですが、しかし、実際に求められたマグニチュードは 7.9 であったため、最初の津波予測は、3~6m と大幅に過小評価となりました。最初から 20m を超える津波警報が出ていれば、ほぼ 100% に近い人が、海岸から死に物狂いで逃げたと思われます。

● 津波警報の問題点

巨大地震が発生した場合は、マグニチュードの飽和の問題で、その発生を検知できず、一桁小さい地震であると判定されます。このため、結果的に、津波警報を過小評価することになるのです。3m の津波といっても、巨大地震の場合には、20-30m の津波になることもあります。巨大地震でなければ、数 10cm になる場合もあります。一般国民は、マグニチュードの飽和の問題の存在を知らないで、長年の小さな地震の経験で、大きな津波は来ないと思ってしまうのではないのでしょうか。

● 海底地震津波観測網の整備と今後の津波予測

東日本大震災後、今後発生する大地震の被害軽減を目的として、北海道から、千葉県の間合に、154 点のケーブル式の海底地震津波計を整備することになりました。

<p>海底地震計が整備され、津波予測の解析手法が高度化されると、精度は飛躍的に向上するはずですが。</p> <p>津波の予測精度が高くなれば、市町村毎に、例えば、この堤防より上に逃げないと、100%の確率で津波に飲み込まれますよ、とか、このビルの5階より上だと安全だけれど、あのビルに逃げても津波に飲み込まれてしまうという予測も可能になるのではと思われまます。</p> <p>● 次の巨大地震から、身を守るには</p> <p>地震はいつ発生するかわかりません。寝ている時かもしれないし、屋外にいる場合かもしれないし、テレビやラジオがついていないかもしれません。地震情報がない場合は、ど</p>	<p>のように身を守ればよいのでしょうか？</p> <p>地震は断層運動であり、地震発生直後の断層は点ですが、それが面となり、時間とともにだんだん拡大し、放出されるエネルギーも多くなり、強い揺れになります。</p> <p>東日本大震災の発生時、最初の揺れは小さかったが、揺れがだんだん強くなり、長く続いた記憶を持っている方は多いのではないのでしょうか。巨大地震が発生すると、常に揺れは長くなり、揺れは強くなります。長く続く揺れを感じたら、身を守る行動をとるとか、揺れが治まったら、テレビ、ラジオをつけて、津波警報がでていないか、確認する必要があります。長い揺れが続いたら、巨大地震発生を疑うべきです。</p>
--	--

✿ 学生による地球温暖化防止活動 ✿

メールによる  
インタビュー



千田 拓弥 さん  
(岩手大学環境マネジメント学生委員会委員長、同大学3年)

相原: 常日頃のご活動に敬意を表します。  
貴委員会の活動が令和元年度の環境大臣表彰を受けられました。是非お話を聞かせてください。ご協力に感謝します。

千田: 活動が評価されて嬉しい思いです。この度の取材にも喜んで対応させて頂



環境大臣表彰式

きます。

— 以下、質問部分を省略 —



- EMS 学生委員会の設立、所属学生数等
- ♥ 私たち岩手大学環境マネジメント学生委員会(以下、「EMS 学生委員会」)は、2008年に設立されました。岩手大学の環境方針に従い、環境マネジメントシステムの構築と運用に、学生が主体的に参画することを目的としています。また、大学側と協力してその責務を果たし活動していくこと、そして岩手大学の環境マネジメントシステ

ムの維持と、大学及び周辺地域における環境の継続的改善のために活動することが理念として掲げられています。

- ◆ 所属する学年別の学生数と代表者は次のとおりです。(令和2年6月1日現在)  
2年生 20名 3年生 35名 4年生 27名 代表者：千田 拓弥(3年)

● 主な活動

EMS 学生委員会は7つのチームを構成し、それぞれのチームで特色を出しながら活動しています。

- ◆ 環境教育チームでは、子供たちが環境について楽しく学ぶための活動をしています。大学内の植物園を探索したり、遊び心のある実験をしたりと、子供たちが少しでも環境について興味・関心を持ってもらえるような活動を行っています。

- ◆ 企画チームでは、委員同士の交流を促し、より楽しく活動できるような企画を行っています。また、環境活動を行っている地域や、施設、団体を訪問する視察研修も企画しています。

- ◆ グリーン・キャンパスチームでは、大学内の緑化活動を行っています。毎年、岩手大学図書館の壁面にアサガオのグリーンカーテンを、苗の育成から水やり、そして撤去まで学生で行い、省エネやCO<sub>2</sub>の吸収に貢献しています。

- ◆ 広報・web チームでは、ホームページや Twitter を運用し EMS 学生委員会の活動を発信しています。また、毎年大学で発行している環境報告書や環境教育用ビデオの作成にも携わっています。

- ◆ 省エネ・省資源チームでは、省エネ・省資源の意識向上の一手となるような活動を行なっています。打ち水プロジェクトや



風鈴の設置、大学祭でのフリーマーケット開催など、環境問題を身近に感じてもらえるような活動を行っています。

- ◆ 廃棄物チームでは、大学内のごみ分別調査やペットボトルキャップ回収、大学周辺のごみ拾い活動などを行っています。学生や留学生にしっかりと分別をしていただくように、分かりやすく啓発する活動も行っています。

- ◆ 最後に、ハーバリウムチームでは、EMS 学生委員会の課題の一つであった「地域連携の強化」を目的としています。ハーバリウムとは、瓶の中にドライフラワーと専用のオイルを入れたもので、花の観賞やインテリアとしても活用されているものです。(下の写真)

不要な瓶の回収と花の育成も学生が自ら行っています。大学祭などでハーバリウム製作体験ワークショップを開催し、ハーバリウムを通し地域に環境保全を推進する活動をしています。



ハーバリウム

- 環境大臣表彰を受賞
- ◆ 2020年12月2日、EMS 学生委員会は10年以上にわたる環境活動が評価され、令和

元年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞しました。同委員会が受賞した「対策活動実践・普及部門」は、地球温暖化を防止する活動の実践・普及等 5 年以上の継続的な取り組みに関する功績が認められたものです。CO<sub>2</sub> 排出量の削減に向け、ペットボトルキャップ・古紙回収、緑のカーテンづくり、屋上緑化、ごみ分別調査といった多様な活動に絶えず取り組みを行っていることが評価されました。

◆ 岩手大学の CO<sub>2</sub> 排出量は、電気・都市ガス・ガソリンなど各エネルギーの使用量に、例えば電気でしたら購入先である東北電力が公表している「排出係数」を掛けることで算定しています。集計結果は、EMS 学生委員会も出席している年数回開催される環境マネジメント推進室会議で報告され、学部などの学内組織にも伝えられています。

● 活動を行う上での難しい点、楽しい点  
「環境」と聞くと、保全したり、気を付けたりしないといけないことは分かるけど、何をしたらいいのか分からない、面倒だ、という人が多いかと思います。それは学生も同じで、どうすれば環境にやさしい行動をしてくれるのか、もっと身近に感じてもらえるようになるのかを考えるのは難しいです。そこで、どうすれば環境に配慮した行動を促せるか、委員同士でアイデアを出し合い、工夫を凝らしています。「環境」をより面白く、身近に感じられるように様々なことをやってみた結果、よい効果がみえると嬉しい気持ちになりますね。

● 岩手大学の環境マネジメントへの取り組みと学生委員会との関係



岩手大学環境マネジメントシステムの構築と運用に向け、EMS 学生委員会は主体的に参画し、全学学生に環境活動を積極的に実施するように呼びかけをしています。

● 環境問題に関する委員長としての想い  
環境問題は将来世代に対して負の遺産になると言われています。それに取り組むことは重要ですが、結果がみえてくるのはとても先であり、そもそも効果があるのか分かりません。それが、環境問題が二の次になっている一つの原因かもしれません。しかし、近年、気候変動問題が増加し自然の猛威は稀ではなくなりました。危険はすぐそこにあります。だから、行動を起こさなければならない。そのカギは若者にあると思います。これまでの生活を環境にやさしくなるようにちょっと変えるだけで、世界は大きく変わると私は考えます。それを若者の柔軟な発想でおもしろくもさせる。環境問題という未知で壮大なテーマに対し、こうすれば変わりそう、ああやればおもしろくなりそう、などとアイデアをひろげ、行動することで、環境をよりよくできる。このことが環境問題に取り組む楽しみだと思えます。

# いわて未来研特別インタビュー

☆ 曾根祥子さんが鞍馬寺発行の月刊雑誌「くらま」令和 2 年 3 月号(通巻 1005 号)に掲載した「唐招提寺にて」の手記を基にインタビュー形式にまとめたものです。 ☆

## ❀ 鞍馬寺から ❀



曾根 祥子 さん  
(鞍馬寺、京都市)

相原： 鞍馬寺様には、私が旧江刺市長時代の源義経にかかわる江刺でのシンポジウムに信樂香仁貫主様にご臨席賜り、また、奥州市長時代には奥州大使をお引き受け頂きました。更に退任後もなにかとご縁を頂戴し、月刊雑誌「くらま」を毎号拝読させて頂いております。

曾根さんには、こうした場面での窓口として多大のご支援を賜り、感謝申し上げます。この度は、曾根さんが「くらま」の中で述べられたお話に感銘を受けまして、関連した取材をお願いしたところ、ご快諾頂き有り難うございました。

曾根： 大河ドラマ「義経」によって奥州と鞍馬寺のご縁が結ばれました。16 年前のことです。情に篤く素朴で誠実な奥州の皆さまと交流するたび、私の心に温かな明かりが灯ります。

相原： ここで、この会報の読者のために、



鞍馬寺ホームページから、同寺をごくかいつまんで紹介させていただきます。

**位置** 京都盆地の北に位置し、豊かな自然環境を残す鞍馬山の南斜面に位置しています。

**鞍馬山開創** 奈良時代末期の宝亀元年(770) 奈良・唐招提寺の鑑真和上(688~763 年)の高弟・鑑禎上人が毘沙門天を祀る草庵を結んだのが始まりとされています。

**文芸の山** 清少納言は随筆『枕草子』で、菅原孝標の女は『更級日記』で、紫式部は『源氏物語』若紫巻で鞍馬や鞍馬寺に触れています。

**武の山** 源義経(幼名牛若丸)は、7 歳頃に鞍馬寺に入山し、16 歳の頃、鞍馬寺を出て奥州平泉に下ったと言われています。

**鞍馬弘教** 宗派に捉われない懐の深さは鞍馬寺の宗教伝統となっています。昭和 22 年、信樂香雲初代管長(貫主)は、このような多様な信仰の



雑誌「くらま」



竹伐り会式



鞍馬の火祭

第 41 号 (R2. 7. 31)

歴史を統一して鞍馬弘教と名付けられ、昭和 24 年、鞍馬寺は鞍馬弘教の総本山となりました。

相原：「くらま」の手記の中で、曾根さんは好きな寺として、お山(鞍馬)を別にして、唐招提寺と飛鳥寺を挙げておられ、まず飛鳥寺について次のように触れられました(一部割愛)。

ひと昔以上前に一度、ご朱印を頂きに伺ったのみである。拝観時間を大幅に遅れて辿りついたらすでに閉門されていた。が、横の木戸をそっと押すと目の前の受付に「ご用の方はどうぞ」と呼び鈴があった。快く応じてくださり、時間外に訪れた非礼も忘れるほど嬉しかった。聖徳太子のみ心が生きているお寺で、まだ拝観の叶わぬ飛鳥大仏に思いを馳せている。何時おいでになっても親切丁寧に接するというお寺の基本を教えていただいた。それ以来、受付時間にかかわらず、出来ることはさせていただくよう努めている。

相原：次に唐招提寺に関して次のように語られました(一部割愛)。

ついこの間、奈良博にお出ましの毘沙門さまにお目にかかろうと出かけた際、先に訪ねた。「ついで」を避けたかったからである。毘沙門天ご出現千二百五十年を寿ぐにあたって、鑑禎上人が長く過ごされ、お仕えになった鑑真和上とお二人の面影がそこかしこに感じられる寺にお参りし、往時を偲びたかったのである。

南大門をくぐると正面に修復の成った金堂、その鴟尾の上に広がるライトブルーの空を見上げていると、胸に込みあげてくるものがある。十年前から何も変わらない静謐な空間、今ここに鑑真和上がおわす、鑑禎上人がおわす、そう思わせる何かがあった。

整然とした境内に、古いが埃っぽくないお堂、そこにひっそりと並んでおられるみ仏、「古拙」という言葉がぴったりの職員さんの対応、天平のその昔に迷い込んだような感覚をおぼえた。これほど心に響いた参拝は久方ぶりのことであった。

相原：いよいよフィニッシュのくだりは次の様でした。心にしみる文に出会わせて頂き、改めて御礼申し上げます。

かれこれ 15 年も前のことにならうか。京都国立博物館の技官が尊像の出陳依頼のために来山された。(中略)その折に、「お寺や神社の境内に一步、足を踏み入れたらその寺社が真実、何を思っているのか、すぐに分かる」という意味のことを仰有った。納経の札所めぐりなどで神社、仏閣へお参りすることの多かった私は、なるほどその通りだと深く共感したことを覚えている。

#### —実文はこの間に飛鳥寺と唐招提寺の話—

技官はその言葉に続いて「だから、出陳のお願いの言い方は寺社によって変えている」と。相手が承諾しやすいようにもってゆく…ここまで手の内を見せてよいのかしら、いや、ご尊天が本音を話させてくださっていると思ったものだ。

ところで、その時のお山へのお願い、どういふ言葉だったと思いますか?「衆生の教化のためにご尊像にお出ましいただきたい」でした。そして信楽管長(信楽香仁貫主)は「お出まし」を承諾されたのだった。

曾根：岩手県は別にして、コロナ以降、人と人は距離をとるようにと言われますが、鞍馬山では、人を含めて森羅万象はつながり合い響き合い支え合う存在であると教えています。実際には触れ合えなくとも、心と心の深い結びつきを大切にしたいですね。

# いわて未来研論壇・随想

❖ 中心課題は、「環境と防災プラス新型コロナウイルス  
対策」です。ご寄稿文は、原文の通りです。 ❖

## ❖ 大感染症の危機管理に『緊急時 使用権限 (EUA)』の制度化を！ ❖

本稿は、  
R2.6.10 付の  
寄稿です。



塚本 康雄 さん

(いわて未来研副会長、奥州市南股地区センター長、旧衣川村村議会議員)

### ■新型コロナウイルス疾患の概要

- 1) 武漢から始まったコロナウイルスの新型。今後も変種や新・新型が発生する
- 2) 症状の出ない感染者が多数存在する
- 3) 症状が出ても約 8 割がカゼの類似症状で自然治癒し、重症化は約 2 割
- 4) 高齢者、糖尿病などの持病者が感染しやすく、急性の間質性肺炎等で重症化しやすい
- 5) 免疫暴走(サイトカインストーム)で、免疫が自分の臓器を攻撃し、軽症者でも急速に重症化する例がある
- 6) 重症化を回避できれば、共存できる疾患である
- 7) 重症者には、サイトカインストームを抑制する治療、ウイルス増殖を止める治



(編集事務局挿入。以下同じ。)

療、傷ついた臓器の修復治療、これらの併用

### ■薬の開発と緊急対応

未知の感染症には、承認された治療薬もワクチンありません。新規に開発をするか、既存薬から効果ある薬を探し出すしかありません。新規開発なら、臨床前試験→第 1 相治験(安全性確認)→第 2 相治験(副作用と効果の検証)→第 3 相治験(多症例での最終確認)→統計解析→承認申請→審査→承認まで数年。既存薬なら第 3 相治験から始めて、早くて 1 年かかります。これでは、薬が承認されるまでの間、どれだけの人が死亡するのでしょうか？

そこで、米国では、緊急事態に検査薬、治療薬、ワクチンなどが承認されるまでの間、FDA(米国食品医薬品局)が未承認薬等の使用を認める『緊急時使用権限(EUA)』があります。一方、日本にはありません。

『レムデシビル』は、5月1日米国で『緊急時使用権限(EUA)』で使用できるようになった未承認薬です。これを日本政府は5月2日レムデシビルのために政令改正、5月4

日承認申請、5月7日に世界初の承認（重症者限定）。その後、6月1日レムデシビル第3相治験で、効果は限定的とギリアード社が発表。

■『アビガン』 軽症で88%、中等症で85%、重症で60%の改善。それでも、承認先送り。

- ・3月17日 中国科学院がアビガン複製薬（中国製）で効果確認。2月から量産。治療に採用する方針を公表。（アビガンは物質特許が期限切れで、複製薬（ジェネリック）を作れる）
- ・3月31日 富士フィルムがアビガン第3相治験開始。  
目標96症例、「標準治療+アビガン投与群」と「標準治療+偽薬（プラセボ）投与群」との比較。6月末終了予定。
- ・4月7日 緊急事態宣言の会見、アビガン観察研究120例で症状改善報告、全国的に観察研究での投与可能に。
- ・4月18日 『第94回日本感染症学会』で、アビガン投与200機関、患者300人。軽症と中等症で9割改善、重症で6割改善と発表。
- ・5月4日 首相会見で、治験途中でも約3000例の観察研究実績と合わせて5月中の承認方針を表明。
- ・5月15日 アビガンの観察研究の中間報告。観察研究2,127症例、投与14日目に軽症で87.8%、中等症で84.5%、重症で60.3%が改善。
- ・5月26日 厚労省がアビガン5月承認見送り、治験継続を公表。
- ・5月27日 日本医事新報の記事『注目の「アビガン」、投与開始は「早ければ早いほどいい」（西耕一 石川県立中央病院呼吸



器内科診療部長)』

- ・5月31日 ロシアでアビガン複製薬（ロシア製）暫定承認。  
インドでもアビガン複製薬（インド製）が8月に治験終了予定。
- ・6月8日 アビガン治験終了が7月以降に延びると報道。（治験での偽薬=プラセボ投与を患者が嫌って、96例の患者登録が終わらない）

■今後の「第2波」「未知の感染症」への対応

- 1) 新しい感染症の大流行は災害として危機管理対応を
- 2) 未承認の薬、検査薬、ワクチン等の使用を認める『緊急時使用権限（EUA）』の制度化を
- 3) アビガンは未知のRNAウイルス疾患全般にウイルス増殖を阻害するので、危機管理として再評価を
- 4) 緊急事態法制は「要請」だけでいいのか？損失補償の仕組みは？経済対策は？
- 5) 憲法に非常事態条項を
- 6) 自衛隊の感染症対策部隊の感染症での災害出動の仕組みは？

■アビガン開発者の紹介

富山化学工業と富山医科薬科大学の共同開発。ウイルス学・白木公康教授、化学合成・江川裕之氏ら、抗ウイルス活性の確認・古田要介氏ら。感謝を込めて紹介いたします。

俳句みらい

共鳴句鑑賞 副会長 岩渕 正力



われにのみお気に入りのアロハシャツ

◎栗駒の連なる沢の清水掬む

梅雨さなか倒産ドミノ衣食泊

評 盛岡のどこかの名水の水涸れのニュースが流れた。雪不足が原因らしいが、メチャクチャな伐採も心せねばならない。



空中は鳶追ふ鳥夏落葉

子

◎名を付けて畑に返しぬ大蚯蚓  
若竹や声変はりらの中学生



中

黒南風に列車の遅れ告げており 鈴木 正子

◎自粛てふ日々を重ねし草取女

兄妹の弾きしピアノや火取虫

評 ある人が、岩手にコロナウイルスが来ないのは土に触れているからだと言った。真偽はいずれ、来ないのは良い事だが、親の死に目にも会えなかった人はつらかったろう。



万緑や散歩の老いに眩しかり 小野寺 喜美治

◎三密を避けて散歩の青田風

梅雨晴間カツコーの声懐かしく

評 田舎では、心してわざわざ避けなくとも、さびしいほど三密はあり得ないが…。



◎帰宅児のまず開けてみる冷蔵庫 種田 勝

端井して深まる闇のしじまかな

大ヤマメ水面まで来て大反転

評 靴を脱ぐのもどかしく、まず冷蔵庫！お目当ては、冷たいジュースか、氷菓か、はたまた西瓜か、メロンか？



花胡瓜どこにも行かず誰も来ず 佐々木 田三男

◎生きてこそ鎌と休める木下閣

水不足胡瓜竜頭尻曲り

評 田三男さん、何才になられるのだろうか。いつも農業にいそむ姿勢の句を拝見し、力付けられる。命へ感謝の句。

木漏れ日の揺るる境内青葉風

渡辺 夕エ子

みどり児の笑みに癒され柿若葉

◎雨までど明日も晴れさう大西日

評 日照りが続いて、畑に植えた野菜がひからびてしまった。待ちに待った雨が降り出したと思ったら、畑がドブドブとなっても止まらない。ままにならないのが天気。

帯ほどきどっと崩れし暑さかな 菅原 節子

燃えてゐる空を飛び交ふ蚊食鳥

◎葦の花妣の助言のさりげなく

評 妣とは亡き母のことである。ちなみに、亡き父は考と書く。亡き母をしのぶのでの句。葦の花が夏の季語。白い小花である。一句の中味にぴったり



の季語の斡旋である。

鳥も樹も海も大地も梅雨の中

引力に魂取られ昼寝かな

◎青空をふんわりたたむ白日傘

評 青空と白日傘のコントラストがさわやか。中七のやわらかな表現は、名前を伏せたら女性の作品を思わせる。

加藤 次男

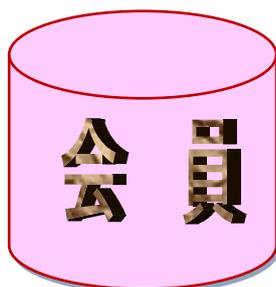
### 近 詠

出水して太刀洗川街奔る 正力

≡ 注意 ≡

前号に於て、先行類似句的作品が見受けられたとの指摘がありました。俳句は短かく、季語のしほりもあって、類句が生じやすい詩型ですので、投句には充分注意して下さい。(正力)





◆ 貴重な経験そして  
新たな価値の創造 ◆



岩渕 典仁(のりひさ)

(一関市議会議員、いわて未来研理事、元厚生労働省、元車いすラグビー日本代表監督、水沢高校卒、筑波大学大学院修了、いわて平成松下村塾卒、一関市)

私は、2012年イギリスで開催されたロンドン 2012 パラリンピック（以下ロンドンパラ）に車いすラグビー日本代表監督として参加し、当時過去最高の4位という成績を残しました。車いすラグビーとは、四肢麻痺者等が、チームスポーツをする機会を得るために1977年にカナダで考案された国際的なスポーツです。日本は、2004年アテネパラリンピックに初出場8位、2008年北京パラリンピックに連続出場7位、そしてロンドンパラには3大会連続の出場でした。また、私が監督を退いた後の2016年リオパラリンピックでは銅メダルを獲得し、今度の東京パラリンピックでは、金メダル獲得を期待されています。

ロンドンパラでは、他の競技を含めてど



こもたくさんのお客が観戦に駆けつけていました。そして、ルールを熟知しているお客が多く、アグレッシブで良いプレーには盛大な拍手、スポーツマンシップから外れるプレーにはブーイングが起きました。また、試合前後やハーフタイムには、お客が参加できるゲームやショータイムがありました。これは正しくお客が障がい者スポーツを一つの「スポーツ」として捉え、それを純粋に楽しんでいるという光景でした。また、海外選手のパフォーマンスは、予測をはるかに超えるプレーや今までの限界を上回るプレーなど、障がい者の身体能力の可能性を再認識することができました。ロンドンパラに参加できたことは、私にとって今までにない貴重な経験となりました。

私は、2017年5月に岩手に戻り、2017年10月の一関市議会議員選挙で初当選をして、現在は、市議会議員をしております。いわて未来研の関わりでは、2018年9月に、

いわて平成松下村塾に入塾をしました。いわて平成松下村塾では、地方自治に関連する諸制度について、議員として、社会情勢の変化や地域の諸課題、住民ニーズを把握することの大切さを学ぶことができました。また、2019年6月より、いわて未来研の理事をさせて頂いております。今後とも、会員の皆様とともに、現在及び未来の政策や国・地方を通じた政治経済についての調査研究、これらを通じて健全なまちづくりを推進し、広く公益に寄与していきたいと思っています。政治家としては、地域住民の期待と信頼に応えるため、地域課題とニ



いわて平成松下村塾卒塾式

ーズを適確に捉え、対応する地域資源を発見・活用し、縦割りを超えた新たな価値を創造し、魅力あふれる地域を創りたいと思っています。

米 ひとめぼれ ささにしき  
りんご ふじ  
なし 長十郎

**菅野 苹果**  
地方発送受承ります

園主 菅野 耕悦

岩手県奥州市江刺区愛宕字池向177番地  
TEL 0197-35-1634  
FAX

水沢公園 そば 無事故を願う親の心で教習する

大鐘の **水沢自動車学校**

http://www.mizusawa-ds.com/  
奥州市水沢区大鐘町3丁目1番地 TEL0197-25-5158

税務分野別に特化した専門チーム・総合力 NO.1 の

**辻・本郷 税理士法人**  
代表社員 本郷 孔洋(岩手県一関市出身)

税務顧問・相続・事業承継・会計など  
タイムリーにサービス提供いたします。

辻・本郷 税理士法人 盛岡支部  
〒020-0021  
岩手県盛岡市中央通2-11-18 明治中央通ビル5階  
☎ 0120-10-0606  
URL <http://www.ht-tax.or.jp/>

いわて平成松下村塾  
第八期(令和2-10-122)  
塾生募集中!!!

これまでの七期で 7 市町村 18 名の塾生が巣立ちました。1 名が県議、3 名が市議として活躍中。

## 会員等親睦交流事業

新型コロナ  
対策にご協  
力下さい。

- ★ 期日: 令和 2 年 10 月 9 日 (金) …平日
- ★ 場所: 成島毘沙門堂一國指定重要文化財木造兜跋毘沙門天立像、東和温泉(昼食・懇談)、  
萬鉄五郎記念美術館、(株)日本ホームスパン(工場見学)
- ★ 交通方法 水沢自動車学校バスほか
- ★ 会費 一人 2,500 円
- ★ 詳しくは別添のチラシをご覧の上、お早めに申し込み下さい。



## いわて未来研十年を振り返って②

### ★ 第 1 回目の親睦交流会

平成 22 年 9 月 26 日(日)、会員等 40 人余が参加し、快晴の中、奥州市衣川を舞台に親睦交流会が行なわれました。前衣川村長の佐々木秀康さんを講師に、星の学校、元大森分校、バイオマス発電施設、長者ヶ原廃寺跡、接待館遺跡などを見学しました。



集合記念写真

### ★ 初めて実施した車座トーク…女性パワー炸裂

平成 22 年 10 月 7 日(木)、奥州市前沢の会員佐々木京子さん(直木賞作家故三好京三氏夫人)宅に同前沢の女性 11 人が集い、「医療」をテーマにそれぞれの想いを熱く語りました。この内容は、後日、会報に大きく掲載されました。



車座トーク

### ★ 県議会議員との意見交換会…初の大型企画

平成 22 年 9 月 5 日(日)午後 1 時半から水沢公民館で、「県議会議員との意見交換会」を開催しました。地元県議会議員の渡辺幸貴、及川幸子、新居田弘文、亀卦川富夫、郷右近浩の各氏が出席しました。会員等の出席は 50 余人でした。



意見交換会

最終頁(P18)一別掲